

## 島田 CKD 事業の取り組み

島田薬剤師会

### 事業を始めた経緯

2019年、静岡県より静岡県薬剤師会が受託して、モデル地区として島田市が選ばれはじめた取り組みである。CKDに関連する医療関係者間でネットワークを構築することで、地域住民の健康増進への寄与、医療費の歳出削減、基幹病院の機能温存を目的としている。

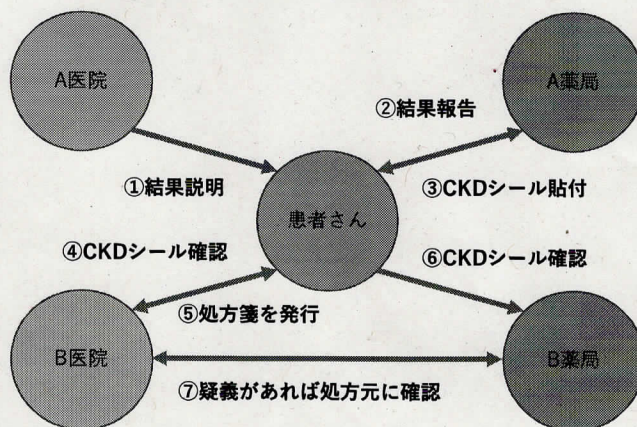
### 参加団体

島田市、島田市民病院、島田市医師会、島田歯科医師会、島田薬剤師会

### 活動内容

参加団体の代表者が定期的に会合を行い、情報共有する体制づくりについて議論を行っています。現在は患者さんや医療機関から得られた検査値をもとに、お薬手帳へのCKDシールの貼付を行い、医療関係者間で情報共有することで、医師が患者さん個々の腎機能に適した医療を提供しやすくする体制を整えています。

イメージ図



### 活動実績

2019年9月～2020年10月までに、中等度の腎機能低下のある方に黄色シール598枚、重度腎機能低下のある方に赤シール247枚を貼付した。検査値に基づいた薬局から医療機関に情報提供した件数145件、情報提供等により処方内容に応じた処方94件であった。

## 課題

現在の取り組みは薬局で患者さんから情報提供があった場合に上手く機能します。情報提供がない場合、患者さんの健康を害する恐れがあり、最悪の場合、緊急処置が必要な副作用が起き、基幹病院の負担の増加および医療費の負担増につながる可能性があります。

通院中の患者さんはもちろん、住民の方が健康な段階からCKDの概念を広めていくことで、CKDネットワークが機能し、地域全体としてより質の高い医療を提供できると考えられる。

